『多元文化交流』第 16 號(2024 年 6 月)
〈特集〉:ポピュラーカルチャーの交流と社会形成

『高橋留美子劇場』にみるジェンダー表象
―異文化理解教育の視点から―

林曉淳

1. はじめに

国際交流基金が 2018 年に実施した「日本語教育機関調査」において、世界の日本語教育機関が在籍する学習者の学習目的・理由として挙げた項目のうち、最も回答が多かったのは「マンガ・アニメ・J-POP・ファッション等への興味」であり、全体の 66%を占めている[1]。調査結果からは日本のポップカルチャーと日本語学習の関連性の深さが見て取れるが、その中でも、とりわけマンガとアニメが日本語教育の分野において注目されている。熊野・廣利(2008)は、日本語教育におけるマンガとアニメの利用に関する研究は、1990 年代に「マルチメディア教材」が注目された時期に始まったと示し、アニメ・マンガが多くの人の日本語学習を始める動機づけになっている現状を日本語教師も認識しなければならないと指摘した[2]。台湾の日本語教育の現場でもマンガやアニメが日本語学習のきっかけであったり、学習の強い動機付けになっていたりする例をよく耳にする。しかし、実際に台湾の日本語学習者が日本のマンガ・アニメに対してどの程度の関心を寄せているのか、そして、マンガ・アニメが日本語の学習リソースになりうるのか。

また、日本出入国在留管理庁の公表によると、2022 年の在留資格「留学」の人数は、新型コロナウィルス感染症によって海外渡航が制限されて以降、二年ぶりに増加の傾向を見せた[3]。留学生の人数がコロナ禍前の水準に戻りつつある中、日本政府は 2033 年までに外国人留学生を 40 万人受け入れる目標を掲げ、留学生を意欲的に受け入れる姿勢を示している[4]。そして、留学生の人数が回復の兆しを見せるのと同時に、2022 年 10 月末の外国人労働者数も外国人雇用状況届出書の提出が義務化された 2007 年以降、過去最高を更新した[5]。各国の人数の集計ではあるが、台湾の若者或いは日本語学科の学生にとって、日本での就職は進路における選択肢の一つであろう。このように、留学や就職などによって日本での長期滞在いわば日本社会に馴染んで生

活していく機会が今後も増えていくと思われる。その際には日本事情・日本社会に関する知識に多かれ少なかれ触れておいた方が人間関係がより円滑に進められるだろう。

以上のことを念頭に置きながら、本稿ではまず、台湾の日本語学習者における日本マンガ・アニメへの関心度を調査し、その結果を分析する。それから、マンガ作品『高橋留美子劇場』を取り上げ、その中に描かれた人間関係や日本社会のありさま、とくにジェンダー表象に焦点を置き考察する。最後にそれを日本語教育の一環とする日本文化理解教育への利用の可能性を探る。

2. 日本語学科生における日本マンガ・アニメの関心度調査

2.1 マンガ・アニメと日本語学習

日本のマンガ・アニメと日本語学習の関連性をめぐる調査報告は熊野(2010)、近藤・村中(2010)、松井(2015)などがある。熊野(2010)は 32 カ国に及ぶアニメ・マンガ好きの日本語学習者 74 名を対象に聞き取り調査を行い、「学習者に人気のアニメ・マンガ」「学習者のアニメ・マンガとの接し方」「学習者にとってのアニメ・マンガの日本語とニーズ」の三つの項目に分けて分析を行った。その結果、海外で共通して人気のある作品はストーリーマンガを中心とした少年・少女マンガであり、接し方についてはインターネット経由の視聴と閲読がほとんどで、アニメは日本音声に拘る一方、マンガは母語訳で読むのが一般的だという傾向があることが分かった。また、アニメ・マンガが日本語学習のきっかけや動機付けになったことに、多くの学習者が同意し、アニメ・マンガに現れる多様な日本語を理解したいニーズがあると指摘した。

近藤・村中(2010)は日本語未習者に着目し、ポップカルチャーへの関心と日本語学習への関心との関連性について考察した。パリ日本文化会館に来場した日本語未習者 83 名を対象に質問紙調査を実施した結果、ポップカルチャーに関心が強い未習者の方が日本語学習への関心が強い傾向にあることが分かった。また、そのような日本語未習者が示す学習目標は、ポップカルチャーのコンテンツをより楽しめるためのものが多く、ポップカルチャーに関心が高い日本語未習者はレベルの高い学習目標よりも何ができるようになりたいという具体的な学習効果を期待していると分析した。

松井(2015)は日本の映像コンテンツに対して、タイの学習者が実際にどの程度の関心を寄せており、どのような認識を持っているのか、アンケート調査を行った。その結果、学習者が最も関心を

寄せている日本のコンテンツのジャンルはアニメで、それに続いて興味を持たれているのはドラマである。しかし、アニメが映画版、テレビ版ともに日本で人気の高いアニメが多数の学習者に視聴されているのに対し、ドラマは学習者の嗜好に全体的な傾向は見られないと述べている。また、タイの日本語主専攻の大学生の多くにとって、日本の映像コンテンツを観ることが習慣化しており、学習者はコンテンツの視聴は音声面、語彙面など様々な学習項目において学習効果が得られると考えている。

2. 2 日本語学科生における日本マンガ・アニメの関心度調査

台湾の日本語学習者が日本のマンガ・アニメに対する関心度を明らかにするため、筆者は 2020 年 6 月に日本語学科に在籍する大学生を対象にアンケート調査を行った。その結果について、「2021 年世新「日本學」國際學術研討會」にて口頭発表した[6]。以下の内容はその一部をもとに、加筆修正を施したものである。

2.2.1 調査の概要

⑴調査対象:台湾の日本語学科に在籍する一年生から四年生の学生。

⑵調査目的:本調査の目的は、日本語学科生が日本のマンガ・アニメにどの程度の関心を寄せているのかを明らかにする上で、日本語学習との関連性、学習者の興味の傾向なども検討することである。

⑶調査内容:①日本語学科生の日本マンガ・アニメに対する関心度と閲読・視聴の頻度、②日本のマンガ・アニメを読む、観ることは日本語学習のどのような面に役立つのか、③現在、どのような作品を観ているのか。

⑷調査方法:北部にある三校の日本語学科を中心に、インターネット Google フォームを使用し、アンケートの調査と集計を行った。

⑸調査期間:2020 年 6 月 5 日から調査を開始し、収集期間を二週間に設定した。期間中 288 名の学生がアンケート調査に答えてくれた。調査票は次の【表 1】の通りで、使用言語は中国語である。

【表 1】調查票

日文系學生對日本動漫畫之關心度調查	
基本資料	性別:○男　　○女
	年級:○一年級 ○二年級 ○三年級 ○四年級

1.您是否有看日本動漫的習慣?

□是(請跳過第 2 題繼續回答 3~8 題)

□否(請回答第 2 題後直接提交)

2.您為什麼不喜歡看動漫?(簡答)

3.(承第 1 題回答<是>者)您比較常看漫畫或動畫?

□漫畫

□動畫

□一半一半

4.您看動漫的頻度~每天看、或一週約幾次?(簡答)

5.您現在看漫畫時是看日文版或中文版?

□日文版

□中文版

□都有

6.您覺得看日本動漫對學習日文有幫助嗎?

□有

□沒有

7.您覺得日本動漫對學日文有哪些幫助?可複選

□可以增強聽解能力

□可以增加語彙能力

□可以學習日文的普通體

□可以學習日本人日常用語或慣用表現

□可以學到正確發音

□可以學習日本文化

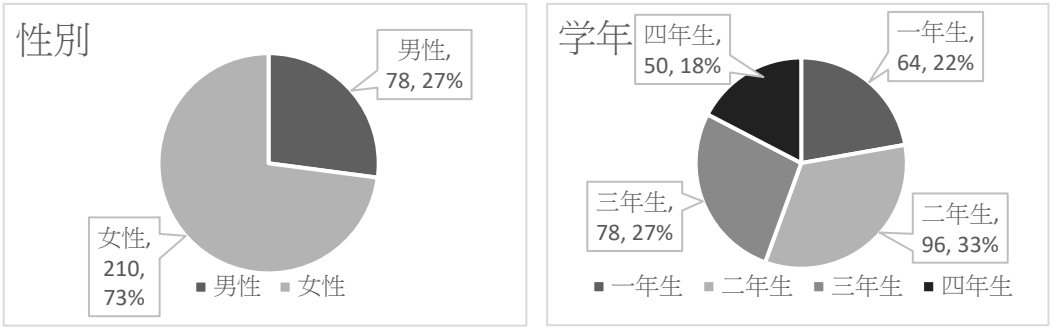
□可以學習許多專業知識

□其他(簡答)

8.您目前有在看什麼作品嗎?(自由作答)

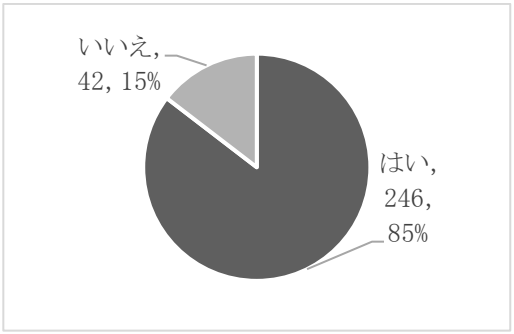
2.2.2 調查結果と分析

ここでは、上の【表 1】にある質問 1、2、6、7 を中心として結果を述べる。なお、回答者の基本情報は次の【図 1】に示した通りである。



【図 1】回答者の基本情報

質問 1 では、まず日本のマンガを読んだり、アニメを観たりしているかどうかについて質問した。結果は次の【図 2】のようである。



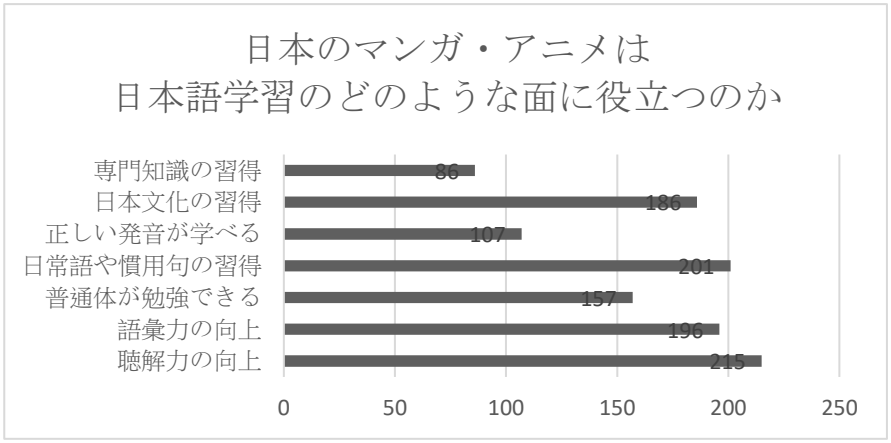
【図 2】質問 1 の結果

【図 2】から分かるように、288 人のうち、「はい」と回答した人は 246 名で、全体の 85%を占めており、台湾の日本語学科生が日本のマンガ・アニメに対する関心度の高さが見て取れる。質問 2 は「いいえ」と答えた 42 名の学生に、何故日本のマンガやアニメが好きではないのか、その理由を書かせる自由記述である。42 名のうち、理由を記入した人は 39 名であった。答えとして「興味がない」、「好みに合っていない」など、自分の考えをストレートに書いた学生が多かったが、こうした答えとほぼ同じ割合を占めていたのは「マンガ・アニメはリアリティ (現実性)がない」という意見であった。マンガ・アニメをリアリティに欠けると感じた学生の多くはドラマのほうが好きだと答えており、中ではマンガとアニメには共感できない、内容や人物の行動が理解し難いという声もあった。マンガとアニメは絵で表現された世界であり、そのために独自の世界観を有することや登場人

物がユニークな性格の持ち主であることがよく見られ、寧ろそれもマンガやアニメが持つ魅力の一端だと言えよう。しかし、リアリティを求める人にとって、それが逆にマイナスポイントとなることも考えられる。

続いて、質問 6 と質問 7 について見てみよう。まず、「日本のマンガ・アニメを読む、観ることは日本語の学習に役立つと思いますか。」という質問である。288 人の中、役立つと答えた人は 97%であり、ほとんどの学習者が肯定的な答えを出した。

そして、日本のマンガ・アニメは日本語学習のどのような面に役立つと思うのかについて、複数選択可能な形式で質問した。選択項目と選ばれた回数は次の【図 3】の通りである。



【図 3】選択項目と選ばれた回数

【図 3】から分かるように、選択項目のうち、最も回答が多かったのは「聴解力の向上」であり、全体の 86%を占めている。続いて 82%を占めている「日常語や慣用句の習得」であった。三位は「語彙力の向上」(80%)であり、そして、「日本文化の習得」(76%)、「日本語の普通体が勉強できる」(64%)、「正しい発音が学べる」(43%)、「専門知識の習得」(35%)という順になっている。

聴解力の次に、学習者にとって、マンガとアニメを通して日常語や慣用語、いわばネイティブ表現を学ぶことと語彙力を高めることも期待された学習効果の一つである。特にマンガの場合は、一般語彙はもちろん、オノマトペ表現も豊富であるため、日本語版のマンガを読む習慣を身につければ、自然と語彙の量が増える。また、繰り返して読むことができるのも、ほかのコンテンツにはないマンガの独自のメリットである。

また語学面の学習効果のほか、マンガ・アニメにおける日本文化理解促進の役割も高く評価され、マンガとアニメは日本文化の習得に役立つと答えた人は、全体の 76%を占めている。このように、日本のマンガ・アニメは日本語学科生が日本文化に触れるきっかけ、日本文化を理解する糸口にもなりえることが窺える。こうした結果を受け、次の節では、マンガを素材とした異文化理解の観点から、マンガ『高橋留美子劇場』を取り上げ、その中に描かれた日本社会のありさま、特にジェンダー表象に焦点を置き考察し、それを異文化理解教育への利用の可能性を探る。

3. マンガ『高橋留美子劇場』にみるジェンダー表象

3.1『高橋留美子劇場』について

『高橋留美子劇場』は漫画家の高橋留美子が 1987 年より、青年コミック誌『ビッグコミックオリジナル』において年に一回というスローペースで発表している読み切り漫画のシリーズタイトルであり、最新作は昨年の 2023 年に「ビッグコミックオリジナル」第 8 号(2023 年 4 月 20 日号)に掲載されたものである。高橋留美子といえば、『らんま 1/2』や『犬夜叉』などの人気作品を思い浮かべる人が多いだろうが、『高橋留美子劇場』はそれらと一味違う素朴な内容になっている。その中に描かれる人間関係は夫婦や近所づきあい、会社の上司や部下などがメインで、ストーリーも日本人にとって身近にありそうな話をベースにしたものが多い。

『高橋留美子劇場』は 2024 年 2 月現在、5 巻[7]まで発行されている。単行本一冊につき、六作品が収録されており、それらの作品タイトル、初出及び主な登場人物をまとめると、次の【表 2】の通りである。

【表 2】『高橋留美子劇場』作品一覧表[8]

初出	タイトル	主な登場人物
1 巻－P の悲劇－		
1991	P の悲劇	羽賀さん、夫、息子 ; 筧さん、息子。
1987	浪漫の商人	縁〈結婚式場の館長〉、圭一〈縁の元夫〉;式場の職員 3 人、年配の夫婦。
1992	ポイの家	広岡さん、夫(＋息子、娘、義父) ; 部長夫婦。
1988	鉢の中	奥さん、隣人の利根川さん。
1993	百年の恋	星野のおばあちゃん、看護師の小泉さん、高根沢さん。
1990	L サイズの幸福	華子、夫、義母;座敷童。
2 巻－専務の犬－		

1994	専務の犬	小暮夫婦、娘、息子;専務夫婦、専務の愛人〈カンナ〉、名犬ゴージャス。
1995	迷走家族 F	不破はづき、両親、弟。
1999	君がいるだけで	堂本さん(＋妻)、店長、アッチャラさん。
1996	茶の間のラブソング	課長、妻〈幽霊〉(＋息子);桃井さん。
1997	おやじローティーン	古田さん、妻、息子;女子高生。
1998	お礼にかえて	小鳩さん(＋夫、息子)、白鳥さん、鵜飼さん、鴨下さん。
3 巻－赤い花束－		
2000	日帰りの夢	東雲さん(＋妻、息子)、志摩聖子。
2001	おやじグラフィティ	林さん、妻、息子;加納家の奥さん、息子。
2004	義理のバカンス	奈美子(＋夫、息子)、義母。
2003	ヘルプ	主人公〈秀彦〉(+妻＋息子)、父
2002	赤い花束	吉本さん〈幽霊〉、玉代〈吉本の妻〉、正弘〈吉本の息子〉;玉代のバイト先のオーナー。
2005	パーマネント・ラブ	神本さん、妻(＋娘);涼香さん、息子。
4 巻－運命の鳥－		
2006	ポジティブ・クッキング	春代、夫(＋義父、息子)。
2010	年甲斐もなく	浩之さん、息子夫婦〈浩太郎、香織〉;若菜、刑事っぽい男。
2009	運命の鳥	喫茶店のマスター〈鳥居くん〉、喫茶店の常連客達、五木ひろみ〈かつてマスターがいた高校のマドンナ〉。
2008	しあわせリスト	並木真由子(＋義母)、町内の人々〈町内会の会長、中谷さん、下田さん、大登呂さん〉。
2011	隣家の悩み	間さん、妻〈ユカリン〉;浮田課長、浮田麻里子〈課長の妻〉。
2007	事件の現場	秋彦、良子〈秋彦の妻〉、母、姉〈春美、怪我して弟の家で居候する〉。
5 巻－魔女とディナー－		
2014	魔女とディナー	糸川さん、田部井、真条美乃。
2012	やましい出来事	小堺さん、妻、息子〈正樹〉;浦野カオル子〈＝キャバクラの彩花。正樹の彼女で結婚を予定している〉。
2016	死ねばいいのに	深賀さん、妻;日吉さん、キヨマサ。
2017	不定形ファミリー	片木さん(＋妻〈離婚を言い渡す〉＋息子夫婦);小町さん、娘と息子たち〈6 人〉 、元夫〈3 人〉。
2015	㊙ルネッサンス	枯枝さん(＋妻)、斧野先生、彩糀さん。
2013	私のスカイ	犬飼さん(＋妻)、スカ井さん〈犬〉;夏川さん、息子〈悠斗〉、以前付き合っていた男。

3. 2 作品にみるジェンダー表象

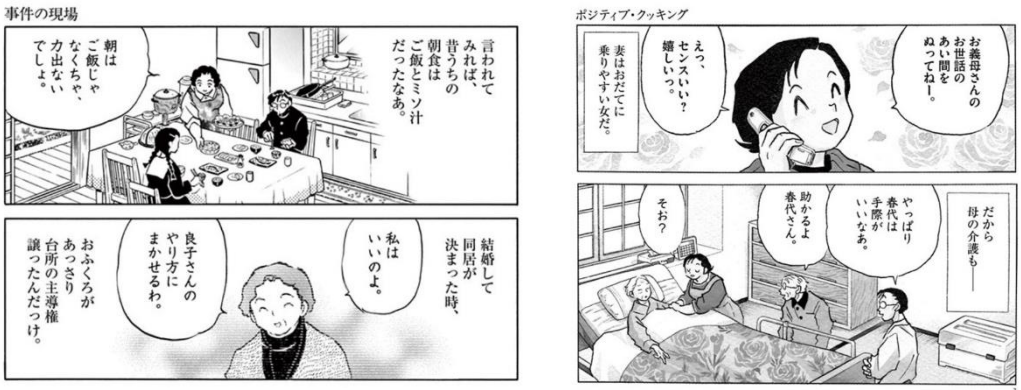
近年よく耳にする「SDGs」(Sustainable Development Goals)という言葉、それは世界で共通の解決すべき課題として掲げられた 17 個の「持続可能な開発目標」を意味している。そのうちの一つ

として、ジェンダー平等の実現が挙げられている[9]。『高橋留美子劇場』は、家族にまつわる話が多く、前述した通り、登場人物も夫婦が大半を占めている。では、そのようなストーリーの中にみる家族のあり方とはどのようなものなのか。男性と女性はどのように描かれているのか。以下、マンガ『高橋留美子劇場』に描かれたジェンダー表象を考察する。

3. 2. 1 女性像

(1)「妻」として「母親」としての役割

『高橋留美子劇場』シリーズに登場する女性のほとんどが主婦である。中にはアルバイトをしている人もいるが、その仕事の様子はあまり描かれることなく、登場シーンは家の中や団地内などが多い。複数の話に渡り、家事と食事の支度に子供の教育で忙しい母親の姿が目立つほか、さらに家族の介護までやっている母親もいる。「公的」な場いわば職場での描写が少ない分、「私的」な場である家の中で活躍する女性像が見て取れる。一方、母親が留守の場合、家のことが上手くいかない対比的な描写もしており、「家」という領域のすべてを仕切り、守っているのが母親といっても過言ではないような描き方である。



【図 4】「私的」な場で活躍する女性たち



【図 5】母親が留守の場合の対比描写

また、作品中にはシングルマザーや離婚した女性もよく登場する。「パーマネント・ラブ」の涼香は美容師で、「わたしのスカイ」の夏川はスーパーとスナックで働いている。さらに「不定形ファミリー」中では離婚を告げた奥さんが介護ヘルパーの資格を取っていたり、後で知り合った女性の小町も食堂を経営していたりしている。彼女らは自分で稼いて生きていくのに当たり、やはり食と関連する仕事、人の世話や美容関係など、女性が妻や母親として担当している内容に近い仕事をするのがほとんどである。

(2)仕事できる女性

2012 年から 2017 年までの作品が収録された 5 巻から、これまでとは異なる女性キャラクターが登場している。表題作の「魔女とディナー」では女性が二人登場し、エステサロンの社長である真条美乃は主人公に呪いをかける恐ろしい女性で、家政婦の田部井は悪人ではないが、最後のネタばらしで魔法の取引に礼金をもらう魔女であったことが判明した。また、「死ねばいいのに」では、登場人物の女性二人が外で働いて稼ぐ役割を担っている。主人公の深賀は早期退職して、カフェレストランの経営に成功した妻に養ってもらっているほか、カフェレストランの美人店長も年下の恋人に貢いでいる。そして「㊙ルネッサンス」に登場する斧野麻子は医師であり、新薬開発チームの責任者である。斧野は離婚していると言われており、登場シーンは職場のみであった。

このように、時代的に仕事と家庭の両立や職場での活躍など女性の社会進出への関心が高まりつつある時期に入ったためか、5 巻は従来の「夫は外で働き、妻は家庭を守る」の図式から脱却

した女性の姿が目立つ一冊となっている。しかしながら、真条美乃と深賀の奥さんは事業で大きな成功を収めたいわば「公的」な場で活躍する女性として登場するが、いずれも怖い女性として描かれている。これは注目に値する点である。魔女のような内面的な悪女である新条社長、そして若い頃の面影がないぐらい豹変し、まるで暴君のようになっていた深賀の奥さんは、仕事できる女性は「異質な存在」或いは「変わり者」であるかのように物語っている。



【図 6】事業に成功した女性の異質さ

3. 2. 2 男性像

(1)「家」という領域からはみ出していく父親

『高橋留美子劇場』シリーズでは男性はどう描かれているのかというと、家の中において、自分の居場所を探したり、居心地の悪さを感じたりしている父親がよく登場する。2 巻の「おやじローティーン」は記憶を喪失し、自分を十代だと言い張る中年サラリーマンの古田と彼が援助交際をしたと疑う家族をコミカルに描いた話である。しかし、ここで注目しておきたいのは、物語キーポイントとも言える、古田の記憶喪失が治らない理由である。主人公の古田の記憶が戻らない理由はストーリーの冒頭において描かれた、北海道転勤が決まったものの一緒に引っ越すことに対する妻と息子の拒否であり、古田が家族という団体から仲間外れされた寂しさによるストレスなのである。



【図 7】「おやじローティーン」

自分がよそ者扱いされているように感じた父親は古田のほかにもいる。仕事ばかりで、家のすべてを妻に任せっきりだった「赤い花束」の吉本は、心筋梗塞で倒れ、幽霊になって自分の葬儀で涙一つ見せない妻と息子を見て、自分が愛されていないと疑う。「おやじグラフィティ」には七年の単身赴任を終えて家に戻ったら、息子によそよそしい態度を取られる林がいる。『高橋留美子劇場』では、父親はしばしば「仕事」によって、「家」という領域からはみ出していく。

及川など(2012)は厚生労働白書の比較データによる欧米諸国の父親と比べ日本の父親が家事・育児に費やす時間が非常に少ないという調査結果の背景に、日本社会における強い性別役割分業意識の存在があると指摘している。“男は公共領域・女は家内領域という性別分業”が近代家族の特徴の一つとも言えよう[10]が、高橋留美子はあえて男つまり父親が家内領域においての違和感とじれたさを強調し、その特徴を図像化により目立たせた。

(2)父親の「不在」

冬木(2008)によれば、日本の父親論は 1970 年代以降「父親の不在」をめぐって、盛んになっている。家族構造の変化からの「威厳的父親の不在」や 1980 年代における長時間労働が引き起こす「父親の物理的不在」などが問題化されてきたが、この作品で提示した父親像も、それらの「不在」を体現したものが多い。「専務の犬」がその例である。「専務の犬」では、専務の愛人とその飼い犬を一時避難的に家に住ませる小暮一家が登場するが、その父親がまさに「威厳的父親の不在」を誇張化したかのように、弱弱しく描かれていた。さらにストーリーの中では、犬を通して家の中の力関係を示し、家の中の主導権が母親に偏りがちである事実をはっきり示したシチュエーションもある。



【図 8】「専務の犬」

「父親の物理的不在」は長時間労働のほか、単身赴任とも密接な関係があると思える。シリーズの中では単身赴任の設定がよく活かされている。前述した「おやじローティーン」と「おやじグラフィティ」のほか、「パーマネント・ラブ」と「隣家の悩み」の主人公も単身赴任中の男性であり、「しあわせリスト」は主人公の夫が単身赴任により不在である。

台湾ではなかなか見当たらない夫婦別々に暮らす単身赴任の家族スタイルであるが、それが日本ではけして稀なことではない。単身赴任は、日本の企業でよく見る終身雇用制度との関連性はいうまでもない。だがその「単身赴任」が日本社会において、一般化し長期にわたって安定的に機能しているのもまた、日本人家族における性別役割分業のおかげだと、鍾(2005)は実例調査

を通し、指摘した。氏は、“「家族分離」にもかかわらず、「家庭崩壊」に至らずに、家族生活を営みつづけることができている。”と、この日本独特の家族生活スタイルについて述べた。

このような家族生活スタイルの裏側には前述したように、不在による家族との疎外感をはじめとするいくつかの問題が潜んでいるが、浮気問題もそのうちの一つである。実際、この作品の中でも浮気疑惑、或いは浮気しそうなシチュエーションの描写が見られるが、作品自体がラストでよい方向に収まる傾向があるため、浮気は大体誤解、または主人公の空回りで終わり、道を踏み外すことなく重くならずすっきりした結末になっている。

『高橋留美子劇場』シリーズでは、日本のはっきりとした性別役割分業意識を面白おかしく表象化されている。そのジェンダー問題を様々なデータと数字が裏付けるが、注目の的であるのが世界経済フォーラム（World Economic Forum：WEF）が毎年公表している各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）[11]である。日本のジェンダー・ギャップ指数は先進国の中で最低レベルであり、2023 年の順位も 146 か国中 125 位（2022 年は 156 か国中 116 位）であって、芳しくない結果になっていた。「教育」と「健康」の分野では男女平等に近づいている数字を示しているのに対し、「経済」及び「政治」における順位が低く、特に政治分野では最下位クラスになっていた[12]。

ジェンダー平等という大きな問題を解決すべく、近年、日本政府側の取り組みの他に、マスメディアにおいてもジェンダー平等の考えを広めようとしている動きがある。NHK では特集を作ったり、SDGs キャンペーン「未来へ 17 アクション」の一環として 2 分でジェンダーの基礎知識を高校生二人の会話で伝えるショート番組を随時流したりしていた。後者は番組と番組の間によく流れており、印象に残った。“2 分で爆速”というコンセプトも時短視聴を好む若者の需要と一致していると思われる。一方、テレビドラマにおいても近年政治家に女性が頻繁に登場し、ジェンダーを意識した配役を見せている[13]。

女らしく…って言わないで！声を上げ始めた若者たち 2022/5/10 放送



ジェンダーギャップを町ぐるみで解消・試練の先に 2021/6/10 放送



【図 9】NHK『クローズアップ現代』よる特集



【図 10】『MEWE－2 分で爆速 SDGs－「ジェンとダー」』(2021 年公開)

3. 3『高橋留美子劇場』で学ぶ日本事情－授業素材としての可能性

『高橋留美子劇場』シリーズでは前述したジェンダー、単身赴任のほかにも、日本社会における諸問題が描かれている。例えば、筆者がよく授業で紹介する 2 巻の「君がいるだけで」では、堅物の堂本さんと機転が利く外国人留学生のアッチャラさんに気が弱い惣菜屋の店長など、個性豊かなキャラクターが登場するが、ユーモアの富んだストーリーの中に日本の「謝り」の文化や外国人差別の問題が浮き彫りになっている。

そのほか、作品中ではしばしば「町内会」の様子が描かれている。高齢化やプライベート優先のライフスタイルなどで、役員の担い手不足・加入率低下・不要論など近年多くの課題を抱えている町内会[14]ではあるが、日本の地域コミュニティについて理解するのに適しているテーマではないかと思う。授業で取り扱う場合はテーマを広げ、ムラ社会と日本の集団意識という見えない文化に触れることも可能であろう。また前述した単身赴任を異文化理解教育の素材として提出した場合、テーマを一点に絞らず、単身赴任制度と転勤制度が何故あるのか、日本の企業の構造を含めて

導入すればよりよい学習効果になるだろう。

授業の素材として利用するのに当たり、読み切り作品であり、2003 年にアニメ化もされたのがこの作品の大きなメリットだと言えよう。読み切りの短編作品であるため、授業中にマンガを一緒に読むことやアニメとの併用が可能である。高橋留美子が若者の間で依然として知名度高い作者であることとストーリー自身の面白さが相まって、アニメが十年以上も前の作品であるのにも関わらず、授業での使用には学生も好意的に受け止めている傾向が見られる。

また、作品自体は時々幽霊や魔法など、ファンタジーな要素を見せつつも、現実とリンクしている部分もあるのが面白いが[15]、30 年以上の時間を渡り、年に一作のスペースで発表しているため、当時の日本社会或いはその時代の人間関係・人間模様が凝縮されていると思われる。最新のコミック 5 巻を見ると、主人公の年齢層が上がり、定年前後の男性の登場回数が増えているが、現実と共にマンガの中も高齢化社会に入ったのかもしれない。

4. 終わりに

以上、日本語学科生を対象に、アンケート調査を行い、台湾の大学生における日本のマンガ・アニメ対する関心度を分析した。調査結果から分かるように、85％の学習者がマンガ・アニメを楽しんでいて、マンガ・アニメに対しての関心度の高さが窺える。97％の学生がマンガ・アニメの学習リソースとしての価値を認め、マンガ・アニメは言語学習に役立つだけではなく、日本文化を理解する糸口にもなりえることが分かった。

こうした結果を受け、本稿では、日本の青年マンガ『高橋留美子劇場』を取り上げ、そこに描かれた家族像、ジェンダー表象などの日本社会のありさまを見てきた。『高橋留美子劇場』は脚色があるものの、ある程度日本の社会現状と繋がり、その一側面を反映している。外国人である我々にとって、日本社会の一端を理解する糸口にもなりえるであろう。このような特徴は『高橋留美子劇場』で限らず、様々な日本の青年マンガにも見られる。内容においては家族や人間関係だけではなく、ビジネスや政治に関わる深みのテーマもよく見られるため、日本の社会現象の理解に役立つツールとしての働きが期待できると思える。

（林曉淳　リン　ギョウジュン　世新大學日本語文學系）

参考文献

及川裕子・宮田久枝・新道由記子・登日麻並(2012)「現代日本における男性と出産・育児」『園田学園女子大学論文集』第 46 号、園田学園女子大学 pp.43-58

落合恵美子(1989)『近代家族とフェミニズム』勁草書房

熊野七絵・廣利正代(2008)「「アニメ・マンガ」調査研修－地域事情と日本語教材－」『国際交流基金日本語教育紀要』第4号、国際交流基金pp.55-69

熊野七絵(2010)「日本語学習とアニメ・マンガ～聞き取り調査結果から見える現状とニーズ～」『広島大学留学生センター紀要』第 20 号、広島大学留学生センターpp.89-103

国際交流基金(2018)『海外の日本語教育の現状　2018 年度日本語教育機関調査より』

鍾海霞(2005)「日本人サラリーマンの単身赴任とその家族」『総合政策』第 7 巻 第 1 号、岩手県立大学総合政策学会 pp.101－102

滝田誠一郎(2008)『ビッグコミック創刊物語―ナマズの意地』プレジデント社

近藤裕美子・村中雅子(2010)「日本のポップカルチャー・ファンは潜在的日本語学習者といえるか」『国際交流基金日本語教育紀要』第 6 号、国際交流基金 pp.7-12

冬木春子(2008)「父親の育児ストレス」大和礼子・斧出節子・木脇奈智子編『男の育児・女の育児―家族社会学からのアプローチ―』昭和堂

本田由紀(2021)『「日本」ってどんな国？国際比較データで社会が見えてくる』筑摩書房

松浦民恵(2015)「女性活躍推進の変遷と課題」『日本労務学会誌』16 巻 1 号、日本労務学会 pp.105－114

松井夏津紀(2015)「日本のアニメやドラマなどのコンテンツに対する学習者の関心度―タイの大学生を対象とした調査からの考察―」『日本語教育紀要』第 12 号、国際交流基金バンコク日本文化センターpp.107-116

矢崎満夫(2019)「日本のアニメーション作品を用いた日本語教育実践の検討」『日本大学大学院総合社会情報研究科紀要』No.20、日本大学大学院総合社会情報研究科 pp.169-180

矢崎満夫(2020)「アニメを用いた日本語授業における活動デザインの実際」『日本大学大学院総合社会情報研究科紀要』No.21、日本大学大学院総合社会情報研究科 pp.73-84

注

[1] 国際交流基金(2018)『海外の日本語教育の現状　2018 年度日本語教育機関調査より』p.25
[2] 熊野・廣利(2008) p.62、p.66
[3] 出入国在留管理庁による報道発表資料「令和4年6月末現在における在留外国人数について」、「令和5年6月末現在における在留外国人数について」(2024 年 2 月検索)。
https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00028.html
https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00036.html
[4] 「10 年後に留学生受け入れ 40 万人、日本人留学生 50 万人　政府目標」(2023 年 3 月 17 日) 朝日新聞デジタル https://www.asahi.com/articles/ASR3K5SXZR3KUTIL01J.html(2024 年 2 月検索)
[5] 厚生労働省「「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和4年 10 月末現在)」の報告によると、2022 年 10 月までの日本での外国人労働者数と外国人を雇用する事業所数はいずれも増加の傾向が見られ、届出義務化以降、過去最高を更新していた。https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30367.html(2024 年 2 月検索)。その数字を「「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和5年 10 月末時点)」ではさらに更新され、初の 200 万人超えとなった。https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_37084.html(2024 年 2 月検索)。
[6] 林(2021)「台湾の日本語学習者における日本マンガ・アニメへの関心度調査−大学の日本語学科生を対象に−」『2021 年世新「日本學」國際學術研討會』論文集 pp.179−190
[7] コミックは 5 巻からシリーズタイトルが「高橋留美子傑作集」に変更されたが、連載のシリーズタイトルは「高橋留美子劇場」のままであるため、本論文では「高橋留美子劇場」と統一する。
[8] (　)内にあるのは、主人公の家族であり、ストーリーに登場するが話に大きな影響を与えることのない人物である。〈　〉は人物の関係性をよりはっきりさせるための説明である。
[9] https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/(2024 年 2 月検索)
[10] 落合(1989)p.18
[11] ジェンダーギャップ指数とは、経済活動、政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出される男女格差を示す指標である。
[12] 「【ジェンダーギャップ指数】日本、2023 年は世界 125 位で過去最低　政治・経済改善せず」https://www.asahi.com/sdgs/article/14936739(2024 年 2 月検索)
[13] 『VIVANT』(2023)では、駐バルカ共和国特命全権大使の西岡英子を檀れいが演じ、『TOKYO MER〜走る緊急救命室〜』(2021)では東京都知事と厚生労働大臣が女性である。それぞれを石田ゆり子(赤塚梓役)、渡辺真起子(白金眞理子　役)が出演し、東京都知事役の石田ゆり子は『BG〜身辺警護人〜』(2018)でも人気ニュースキャスター出身の政治家の役を演じている。
[14] 「自治会・町内会　曲がり角:1」https://www.asahi.com/articles/DA3S15572922.html(2024 年 2 月検索)
[15] 2021 年に発表された作品「昔の女」にはコロナ禍の中、マスクをつけた幽霊が登場する。